

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(6月下旬から7月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		<p>ほぼ横ばいとみている。天候不順の影響で7月の民間消費は予想外に落ち込んだものの、8月には再び増加に転じ、9月も天候の改善により増加を続けた模様である。企業マインドは民間消費の落ち込みによる悪影響を受けたが、日銀短観9月調査でみた設備投資計画は3か月前よりも上方修正された。株価は、過去3か月ほぼ上昇トレンドであった。昨年9月下旬、安倍首相はニューヨーク証券取引所でBuy my Abenomicsとスピーチしたが、その後1年でTOPIXはほぼ1割上昇した。ただ10月にかけて市場参加者においては、円安の影響や海外経済の動向、地政学リスク等を、より慎重に見極めようとする姿勢が感じられる。</p>
1-2	今後の経済のリスク要因(第1回時点と比較して変化がある場合)、あるいは将来への新たな期待要因について、300字以内でご記入ください。	—	<p>天候不順の影響で7月の民間消費が落ち込んだことで日本経済の下方リスクが一時的に高まったが、その後の民間消費の回復により、7-9月の経済成長率が低迷するリスクは低下したと考えている。一方、欧州においてデフレ傾向が鮮明となっているが、有効な対策が打ち出されていない点が懸念される。</p>
経済再生と両立する財政健全化			
2	財政健全化に向け、歳出削減等を始めとして様々な取組が考えられますが、具体的取組内容についてのお考えを300字以内でご記入ください。	—	<p>今後の政府債務残高対GDP比の変動への寄与度の大きさを検討すると、何よりも毎年1兆円増加する社会保障関係費が突出している。年金、医療、介護等の支出抑制策が既に各種提案されているが、これらを総合しても、財政健全化効果は限定的とみられ、やはり税を含む負担増加を国民に求めていく必要がある。また利払い費の影響も大きいため、低金利の継続が望ましい。消費税の引き上げ等、着実な財政再建への取り組みを続けなければ、市場の信頼が失われ、不測の金利上昇が生じ、利払い費の急増による財政破綻という最悪のシナリオに陥りかねない点を肝に銘じるべきである。</p>

質問事項		選択式回答	記述式回答
女性の働き方に中立的な税制・社会保障制度等の在り方			
3-1	どのように女性の働き方に中立的な社会制度を実現していくべきとお考えか、その理由とともに300字以内でご記入ください。	—	いわゆる103万円、130万円の壁が、女性の就労状況に無視できない影響をもたらしていることは、データからも明らかであり、その是正は不可欠。その際、女性の子育て・介護負担問題への対応も合わせて進展させる必要。この他、共働きをしてきた女性でも、夫の死後は、遺族年金の受給を選択し、専業主婦だった場合と同じ年金額となる場合が多いという問題もある。老後の年金問題は、男性より寿命が長く、雇用形態が変化することが多い女性にとって重要である。これについては、確定拠出型年金の活用、特に個人型の加入対象者の制約撤廃が検討されるべきである。
3-2	女性の働き方に中立的な制度を論じるに当たって、その背景にある事項(女性が働くことへの人々の意識や職場慣行、男性の働き方、子育て支援等の環境整備、家族のあり方等)について、特に言及すべきことがありましたら300字以内でご記入ください。	—	職場レベルでの各種の取組みが、家庭や社会といったレベルにおける女性の就労に対する意識にも良い変化を与えていくことが期待される。野村の場合、女性の管理職への登用を促進する人事制度を導入したが、形式的に門戸を開いて終わりではなく、メンタリングやコーチングなど、女性の意識に継続的に働きかけていくプログラムを実施している。企業規模や業態の違いを踏まえつつ、各社が、ハード、ソフトの両面で、女性の就労・登用促進につながる仕組みを工夫していくことが必要と考えられる。